



# MASDAGOLF JOURNAL

## Masdagolf Head Quarters

マスダゴルフ  
R&Dセンター

一般開放中!

マスダゴルフでは、千葉県の自社工場敷地内にR&Dセンターを設立しました。「トラックマン」による試打室を完備。高速なパッティンググリーンやアプローチ用の天然芝と砂質にこだわったバンカー練習場など環境にこだわり、研究開発やプロ対応を行う施設です。

現在、完全予約制で一般の方のフィッティングにも対応しています。ぜひ、この充実した環境でのフィッティングを体験して下さい。



ご予約はこちら

- ◆住所：千葉県八千代市平戸294-1  
マスダゴルフR&Dセンター
- ◆TEL：047-406-5140
- ◆Mail：info@masdagolf.com



マスダゴルフにとって、6年ぶりとなる待望の新アイアン「JM-H2」がいよいよ発売される。2022年のジャパンゴルフフェアで発表された、マスダゴルフと尾崎将司プロとの「クラブ開発アドバイザー」契約に基づき、ジャンボの監修モデルとしてローンチされる初めてのモデルだ。

実は開発中に、ほぼ完成という段階まで何度か行き着いていたのだが、その度に大きな見直しがあり、結果として6年以上の時間が経過していた。簡単に発売できなかったのはもちろん、「ジャンボ尾崎監修モデル」という重みがあるからでもある。ジャンボの名前を冠する以上、最高のものを世に出したいという増田雄二の決意が感じられる。

もともと、尾崎プロは形状や打感へのこだわりはもちろん、クラブにやさしさを求めているのはよく知ら

## 6年ぶりとなる新作は、 待望のジャンボ監修モデル

れている。「JM-H2」は、そんな尾崎プロの思想を熟知した増田が、まさに阿吽の呼吸で作り上げたアイアンだ。精悍な雰囲気と機能面でのやさしさを見事に両立したのは、マスダゴルフの真骨頂と言えるだろう。

増田は常々、「ジャンボさんから教えられたゴルフクラブのノウハウをかたちにしたい。あれほど偉大な人の功績をもっと広く知ってほしい」と語っている。それだけに、この「JM-H2」を「ジャンボ尾崎監修モデル」として発表できることが、とても嬉しそうだ。



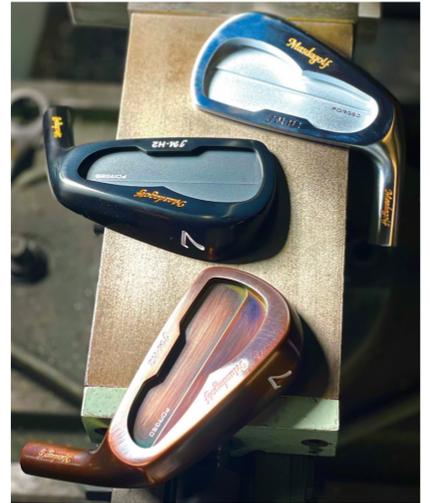
ドライバーからバターまで、14本全てをコーディネートできるマスダゴルフだが、ここ数年はアイアンのラインナップが、「ファストマッスル」だけだった。今回の「JM-H2」の登場によって、より幅広いゴルファーがその恩恵を受けることが出来るだろう。

長い開発期間を経て、ようやく完成した「JM-H2」アイアン。マスダゴルフ渾身の自信作をぜひ手にとつて試してみたい。きっと、脈々と受け継がれているジャンボの思想が感じられるはずだ。

ゴルフライター コヤマカズヒロ



MASDA GOLF



— 新製品「JM-H2」アイアンがついに発売になりますね

ジャンボさんと契約して、はじめて出すモデルです。ジャンボさんの意見や思想を取り入れた「ジャンボ監修」のアイアンですよ。

— 2016年の「ファストマッスル」以来、6年ぶりのNEWアイアンです

そんなに空いたっけ(笑)

今、マスダゴルフにはマッスルバックしか、アイアンのラインナップがないんです。でも、みんながみんなストイックなアスリートゴルファーじゃないからね。ようやく、よりやさしいモデルの選択肢を用意できましたね。

— 「JM-H2」アイアンはどんなアイアンですか？

なんといっても「ジャンボ監修」ですからね。

ジャンボさんとは阿吽の呼吸で、好みとか考え方は分かっているつもりだから、その思想を取り入れながら、一般のアマチュアゴルファーがやさしく使えて、それでいて正統派の流れをしっかり残しています。

— ヘッドサイズはやや大きめですが、見た目は精悍でカッコいいですね

そうですね。ジャンボさんの名前を掲げるからには、とにかくカッコいいものを作らないとね。過去のジャンボモデルはみんなカッコよかったから、それを継承したいと思って作りました。

“J”はジャンボのJ、“M”はマスダゴルフのMなんです。その名に恥じない自信作になったと思ってます。



代表 クラブデザイン・製作総指揮  
増田 雄二 (ますだ ゆうじ)

自動車関係のエンジニア出身、金型の設計、製作など金属加工のスペシャリスト。その知識を生かして開発考案したバターを、当時最盛期だった尾崎将司のために改良を加えた「WOSS」を開発。空前の大ヒットモデルとなる。以降、尾崎将司のチーフデザイナーとして、ドライバーからバターまですべてのクラブの開発・製作を担当した。

その後、クラブデザイナーとして独立し、2004年に「マスダゴルフ」を設立。トッププロとのやり取りの中で生まれた、常識にとらわれない独自の発想で、高機能・高品質のクラブを発表し続けている。

ゴルフ全般に造詣深く、本人もドラコンシニア王者の実績を持つ飛ばし屋。  
1962年熊本県生まれ。

MASDA GOLF

# STUDIO WEDGE M425

2013年4月25日、つるやオープン初日に尾崎将司選手がレギュラーツアーでは初となるエージシュート「62」をマークしました。ちなみにその試合で優勝したのは、プロ転向2戦目の松山英樹選手。この年、ルーキーイヤーで賞金王を獲得する松山選手の勝利以上に、ジャンボのエージシュートは大きく報道されました。

この年、クラブ契約を変更した尾崎プロのために、増田雄二が制作したプロトタイプウェッジが、現在もマスダゴルフの人気モデルとなる「M425」となりました。「M」とは、「マスダ」でもあり、「将司」でもあるダブルミーニング。「425」は、エージシュートが達成された日付から取ったものです。



## 10th Anniversary



今年、2023年は「M425」誕生から10周年となります。

「M425」には、尾崎プロの思想を熟知している増田雄二が、その代名詞でもあるグースネックウェッジの形状を踏襲しつつ、特徴のあるキャビティ形状をはじめ、様々な意匠を盛り込んでいます。その結果、プロモデルでありながら、アマチュアが使っても非常にやさしくて高機能なスーパーウェッジが誕生しました。

現在は、よりテクニックが使えるストレートネックモデル「M425/S」や、多くの表面仕上げを追加し、今も生産が追いつかないほど、毎日多くのオーダーをいただいています。

尾崎プロの長いプロ生活から培ってきたノウハウと、その薫陶を受けてきた増田雄二のアイデアが生んだ「M425」。10年が経過しても、その先進性は色褪せるところがありません。

## STUDIO-2 ステンレスバージョン 発売しました!

マスダゴルフがラインナップするバター、「STUDIO-1」、「STUDIO-2」、そして「STUDIO-3」と「TYPE-L」は、いずれも軟鉄素材によって製造されています。いずれも軟鉄特有の分厚い打感が持ち味です。サビやすい事もあって、現代ではバターで軟鉄を採用したモデルは、かなり少なくなっています。

発売したばかりの「STUDIO-2 ステンレスバージョン」は、その名の通り、ヘッドにステンレス素材を採用した「STUDIO-2」です。軟鉄モデル同様、5軸制御の機械加工によって、精密に削り出しています。

通常の「STUDIO-2」よりもフランジ部分の角をしっかりと残して、よりスクエアなアライメントが取りやすくなるなど、ステンレスバージョンならではの意匠も加えました。

ワンオフモデルである「STUDIO COLLECTION」にも採用している国産の高品質ステンレス素材を丁寧に削り出したヘッドは、軟鉄とはまた違った爽快で澄んだ打感を楽しむことができます。非常にコストがかかるため、軟鉄モデルよりも高額になってしまうのですが、それに見合う性能を持つプレミアムモデルです。



### Information

有限会社 マスダゴルフ  
本社 R&Dセンター

〒276-0017  
千葉県八千代市平戸294-1  
TEL:047-406-5140 / FAX:047-406-5141  
info@masdagolf.com



公式サイト



オンラインショップ



Facebook



Instagram